

( ) 病院 産婦人科部長 ××××殿

上記の内容について、事業の利用に同意します。

年 月 日

ご住所 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_

資料 5. 妊婦訪問ケア記録

《 妊婦訪問ケア記録 》

日時 : \_\_\_\_年\_\_月\_\_日

お名前 : \_\_\_\_\_様

予定日 : \_\_\_\_年\_\_月\_\_日 (妊娠\_\_\_\_週\_\_日目)

健診場所 : \_\_\_\_\_助産所 ・ \_\_\_\_\_病院

妊婦さんの状況	ケアの内容・アドバイス

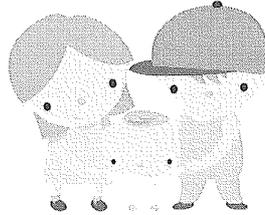
資料 6. 対象者のプロフィール一覧表

	No,	1	2 〔例〕
妊産婦	モデル別		モデル I
	予定日		2005/2/11
	氏名		t・m
	年齢		36
	初産/経産		1 回経産
	現住所		〇〇区××
	担当医		Dr 佐藤
	担当地域助産師		高橋
	担当当院助産師		山本・斉藤
	妊娠中訪問回数		
	妊娠中特記事項		特になし
	入院期間		2/17~2/21 (4 日間)
	入院月日時間		2/17 (木) 8:00
	分娩月日時間		2/17 (木) 14:00
	妊娠週数		40w6d
	新生児	分娩診断	
分所要時間			9 時間 13 分
総出血量			185 ml
性別			男児
体重			3200 g
Ap			9 → 10
臍帯血 PH		7.364	
羊水混濁		黄緑色	
その他		生後 1 日目 k <sub>2</sub> シロップ	

新生児	入院中の経過		羊水混濁有臍帯血 CRP (4.07) ビクリリ 150mgIV バ イル異常無、黄疸軽度、哺乳 力ゆっくり、眠りがち 4 日目 体重減少最大 (-10.3%) で退 院となる。
	入院中の経過		子宮復古：良好 ADL 拡大：順調 採血結果：Hb10.6mg/dl フェミP処方 育児：安定
褥婦	授乳状況		分娩当日より添い寝で授乳 3 日目現在も児スリーピーで 明け方 6 時間ほど寝てしま うこともあり。起こしつつ直接授 乳すすめる。まだ本人だけでは 吸着浅くしっかり奥まで捉え られていないため乳汁も濃い のがでる。直母の時間をあけず にしっかり行い、同時に吸着確 認もしていく必要がある。退院 日(産褥 4 日目)の新生児の 体重減少 (-10.3%) で最大、 分泌量ゆっくり上昇している 様子でタリタリ 浅めにて深め の吸着練習しつつ退院となる。
	退院後のフォロー		継続事項：新生児の体重減少 及び増加不良
母子	退院時の栄養方法		母乳栄養
	退院後のサポート		夫のみ(家事は夫がほとんど やってくれるという)
	連絡先		自宅 △△区

事業 I

助産院と日本赤十字社医療センターの産科オープンシステム  
～ もっと安全で快適に出産するために ～



モデル事業 ご利用者アンケート

このアンケートは、本事業をご利用いただいている妊婦さんに、出産や育児についての希望や、現在のケアについて感じていることをお伺いするために実施するものです。

今後、ご協力いただくインタビューの際にも参考資料とさせていただくため、お名前も記入していただきますが、個人名が他の人に知られたり、お名前が公表されることはありません。また、このアンケートに書かれた内容で、今後のケアで不利益をこうむることはありません。頂いたご意見をもとに、本事業をより良いものにしていきますので、安心してご記入ください。

( ) 病院  
産科部長 ××××

■最初にあなたのことについて、ご記入ください。

記入日	( ) 年 ( ) 月 ( ) 日
お名前	
年齢	( ) 歳
ご住所	( ) 市・町・村・区
ご職業	( ) フルタイム・パートタイム
出産予定日	( ) 年 ( ) 月 ( ) 日
助産所での妊婦健診実施日	1回目 ( ) 月 ( ) 日 2回目 ( ) 月 ( ) 日
病院の定期健診実施日	( ) 月 ( ) 日



Q6 本事業について、助産所の助産師の説明はよくわかりましたか。

1. はい
2. いいえ <具体的にわかりにくかった内容を、以下に書いてください>

Q7 同意書について理解できましたか。

1. はい
2. いいえ <具体的にわかりにくかった内容を、以下に書いてください>

Q8 なぜ、本事業を利用しようと思われましたか。(〇はいくつでも)

1. 通院回数を減らせるから
2. 病院での待ち時間を減らせるから
3. 子どもを預けなくてよいから
4. 費用が安いから
5. 医師や助産師に勧められたから
6. 今までと違う出産を試してみたかったから
7. その他( )

Q9 サービス内容と比べて、本事業の料金は適当ですか。

1. 適当だと思う
2. 高いと思う
3. 安いと思う

■病院での健診について（直近の健診についてお答えください。）

Q10 ご自宅から病院までの通院（片道）に要した時間はどのくらいですか。

（ ）時間（ ）分くらい

Q11 病院での滞在時間はどのくらいでしたか。

（ ）時間（ ）分くらい

Q12 予約時間は何時でしたか。実際に健診が開始したのは何時でしたか。

予約時間（ ）時（ ）分 ～ （ ）時（ ）分

→実際（ ）時（ ）分

■医師の対応についてうかがいます。

Q13 医師の診療は、リラックスして受けられましたか。

1. はい 2. いいえ

Q14 ご自分の話は十分に聞いてもらえましたか。

1. はい 2. いいえ

Q15 質問には、丁寧に答えてもらえましたか。

1. はい 2. いいえ

Q16 経過について十分に説明を受けましたか。

1. はい 2. いいえ

Q17 治療や検査については、十分な説明を受けましたか。

1. はい 2. いいえ

Q18 診察では、安心するような言葉をかけてもらいましたか。

1. はい 2. いいえ

■外来での助産師の対応についてうかがいます。

Q19 助産師の健診は、リラックスして受けられましたか。

1. はい 2. いいえ

Q20 ご自分の話は十分に聞いてもらえましたか。

1. はい 2. いいえ

Q21 質問には、丁寧に答えてもらえましたか。

1. はい 2. いいえ

Q22 経過について十分に説明を受けましたか。

1. はい 2. いいえ

Q23 治療や検査については、十分な説明を受けましたか。

1. はい 2. いいえ

Q24 診察では、安心するような言葉をかけてもらいましたか。

1. はい 2. いいえ

■病院の対応についてうかがいます。

Q25 プライバシーへの配慮は十分だったと思いますか。

1. はい  
2. いいえ <具体的に良くないと感じた内容を、以下に書いてください>

Q26 設備について不便を感じる場所はありますか。

1. ない  
2. ある  
→具体的には  
(1. 診察室 2. 待合室 3. トイレ 4. 廊下や階段、エレベータ

5. その他 ( ) )

→不便を感じた内容を、以下に書いてください。

Q27 事務職員の対応はよかったですか。

1. よかった

2. よくなかった <具体的に良くないと感じた内容を、以下に書いてください>

■出産、育児への期待と不安についてお伺いします。

Q28 妊娠してから、これまでに不安を感じたことがあれば、記入してください。

Q29 これからの出産や育児について、不安を感じていることを記入してください。

Q30 (出産経験のある方のみ) 前回の出産場所はどちらですか？

1. ( ) 病院 2. 1以外の病院 3. 診療所 4. 助産所 5. 自宅

Q31 (出産経験のある方のみ) 前回の出産についてどう思いますか。

良かったと思うことは何ですか。

嫌だと感じたことは何ですか。

今回は、どのようなお産にしたいですか。

Q32 (出産経験のある方のみ) 前回の出産後、どのようなサポートをほしいと思われましたか。

■全ての方にお伺いします。

Q33 本事業に何を期待していますか。これまでのところで、改善した方がよいと思うことがあれば、書いてください。

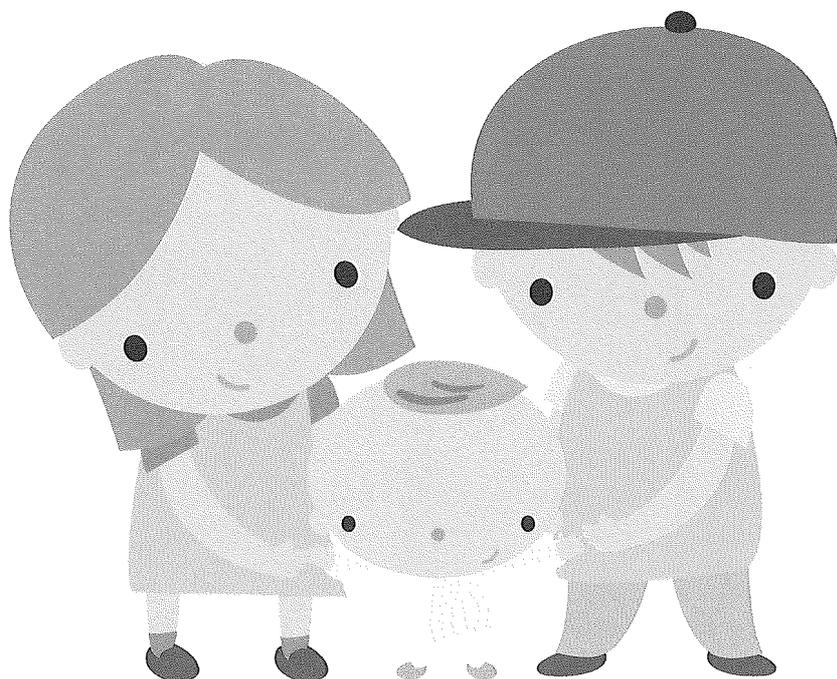
ご協力ありがとうございました。  
これからも、どうぞよろしく申し上げます。

事業Ⅱ

## 助産所と病院の産科オープンシステム

モデル事業 ご利用の手引き

～ もっと安全で快適に出産するために ～



 **日本赤十字社医療センター**  
JAPANESE RED CROSS MEDICAL CENTER

産科部長 杉本充弘

## 助産所と日赤医療センターの産科オープンシステムとは

このたび、当院では、よりよい出産のあり方を模索していくため、助産所と日本赤十字社医療センター（渋谷区広尾。以下「日赤医療センター」）との連携による産科オープンシステム事業（以下「事業」）を実施することになりました。

少子化、核家族化という時代背景の中で、妊娠・出産・育児に不安をかかえる妊婦さんは少なくありません。しかし、現在の産科医療はその不安に十分に応えているとはいえません。

本事業は、日赤医療センター 産科部長 杉本充弘を主任研究者とする平成 16～17 年度厚生労働科学研究費補助金による研究事業\*に基づき行われており、助産所と病院の連携を深め、快適で安全な出産を保障し、妊婦の皆様やご家族のニーズに対応できる産科施設を作っていくことを目的としています。

つきましては、趣旨をご理解のうえ、本事業をご利用賜りますようお願い申し上げます。

### \*厚生労働科学研究費補助金とは

厚生労働省が、医療や福祉の発展等のために研究者に提供する補助金です。研究結果は報告書として取りまとめて公開され、今後の医療や福祉のために役立てられます。本事業名は、平成 16～17 年度厚生労働科学研究（医療技術評価総合研究事業）「医療安全を考えた産科施設の安全と質に関する研究」です。

## 1. どのような事業なのですか？

地域の助産所と日赤医療センターが協力を行いながら、妊婦さんの安全で快適な出産をサポートします。

これまでの出産は多くの場合、安全性に比重を置いた病院と家庭的なケアを重視した助産所とがそれぞれ独立して対応してきました。そのため、安全で快適な出産を求める多くの妊婦さんは二者択一を迫られてきました。

本モデル事業では地域助産所と病院が連携した新スタイルの産科施設を作り、妊婦さんの安全で快適な出産をサポートすることを目指しています。

## 2. 具体的にはどのように進めるのですか？

在宅妊婦健診（通院定期健診以外の、月1回程度の健診と生活の援助）は、日赤医療センターの助産師（2-3人のチーム）または、日赤医療センターが協力を依頼した地域の助産師のケアをご自宅で受けていただきます。

ただし、通院定期健診（20週、30週、36-37週）は、日赤医療センターの外来で行います。（状況によっては、このほかにも日赤医療センターの外来で受診していただく場合があります。）

また、出産は日赤医療センターで行い、出来る限りこれまで担当してきた助産師が出産介助を行います。まれに別の助産師が出産介助を行うこともありますが、その際には引き継ぎを十分に行い、訪問で実施してきたケアの連続性を尊重します。

出産後は、ご希望に応じて1日から3日間程度での退院となり、その後はご自宅に帰られるか、地域の助産所へ転院して、担当の助産師のケアを受けていただきます。

詳しくは5ページ以降をご覧ください。

### \*妊婦さんにメリットになること

- 1 担当助産師が継続的にかかわることで、妊娠・出産・育児に不安をもつ妊婦さんをサポートします。
- 2 出産は、緊急時にも迅速に対応できる人的・物的準備の整った日赤医療センターで、家庭的な雰囲気を尊重した中で行われます。
- 3 特に、二人目、三人目の妊娠で、上の子どもを育てながら、妊婦健診のために日赤医療センターまで通院するのが困難な方にとって、何回かの妊婦健診をご自宅あるいは地域助産所で受けることができます。

### 3. 具体的にはどのようにモデル事業を進めるのですか？

日赤医療センターを受診し、妊娠の経過に大きな問題がないと考えられる（ローリスク）方のうち、お住まい等を考慮してこの資料をお渡ししています。

本事業を利用してもよいという方には、さらに詳しく話し合う場を持った後に、同意書にサインをしていただき、日赤医療センターに登録します。

その後、担当の助産師を決め、在宅妊婦健診に伺います。

### 4. 妊娠の途中や出産の際に、予期しない事態が発生した場合には、どうなりますか？

日赤医療センターで、必要と思われる医療処置を行うなど、責任をもって対応します。ただし、本事業の対象者の方はローリスクの方としていますので、本事業の対象ではなくなる場合もあります。

### 5. そのほかに何か協力することはありますか？

本事業はよりよい出産のあり方を目指しており、皆さんからのご意見をもとに出産のシステムやケアについての課題を見つけ、フィードバックしていくことが必要です。そのため、妊娠中にアンケート調査を実施したり、お話をうかがうことがあります。また、出産後3か月程度の時期に、経験された内容について、改善した方がよい点、よかった点などについて個別にお話をうかがったり、本事業を利用された方たちのグループでお話をうかがうことがあります。

### 6. 自分の名前が公表されたり、プライバシーが侵されることはありませんか？

本事業では、個人のプライバシーを尊重し、十分に配慮を行います。

お話をうかがう際に録音等の記録をとらせて頂く場合がございますが、氏名等、個人が特定される情報が、外部に公表されたり、もれたりすることはございません。また、これらの情報につきましては、事業以外の目的には使用いたしません。

## 7. 途中で利用したくなくなった場合は、やめることができますか？

途中で何らかの事情により、本事業の利用を辞退したくなった場合には、やめることもできます。訪問を担当している助産師に申し出てください。その後のケア等については、助産所あるいは日赤医療センターで、一般の妊婦さんと同様に受けることができます。

また、本事業の途中で、疑問や不安が生じた場合には、遠慮なく、助産師に申し出てください。一緒に解決の方法を考えていきます。

## 8. 費用はいくらになるのですか？

健診の回数や入院日数によって異なります。また産後のケアは、実施する内容によっても異なります。この資料の後ろに目安となる金額を示していますので、助産師と相談しながら計算してみてください。おおよその目安がわかります。

ここからは、本事業と費用について、詳しく説明します。

1. 本事業をご利用いただく方は、次のように進めます。

月数 週数	初期	3 10W	4 5 11-19W	6 20W	7 21-29W	8 30W	9 31-35W	10 36-37W	出産	入院	産後
妊婦さんの自宅	日赤助産師による 訪問健診・ケア 	日赤助産師による 訪問健診・ケア 	日赤助産師による 訪問健診・ケア 	日赤助産師による 訪問健診・ケア 	日赤助産師による 訪問健診・ケア 	日赤助産師による 訪問健診・ケア 	日赤助産師による 訪問健診・ケア 	日赤助産師による 訪問健診・ケア 		在宅にて引き 続きケア 	
日赤医療センター	ご協力の依頼  ご協力の依頼 ・説明と同意	日赤医療センター で健診  医師と助産師	日赤医療センター で健診  医師と助産師	日赤医療センター で健診  医師と助産師	日赤医療センター で健診  医師と助産師	日赤医療センター で健診  医師と助産師	日赤医療センター で健診  医師と助産師	日赤医療センター で出産。原則、訪問時の 助産師の直接 介助。 	日赤医療センターにて：原則 1日 	満足度等を 調査 産後約3か 月で完了 その後、在 宅ケア(地域 の助産院に 引継ぎ)	

①本事業の説明

日赤医療センターを受診した方のうち、対象者に該当すると判断された方について、本事業についての説明をいたします。

②在宅妊婦健診

あなたのご自宅で、日赤医療センター助産師、あるいは出張専門の開業助産師による在宅妊婦検診を行います。日赤医療センターでは、あなたの担当となる助産師のチームを編成して対応いたします。

③通院定期健診

20週、30週、36-37週の通院定期健診は、日赤医療センターで行います。その際、日赤医療センターの助産師が健診に立ち会います。

○ 日赤医療センターでの通院定期健診については、担当の助産師と相談の上、予約をとり、受診して下さい。待ち時間を短縮するため、なるべく早い時間帯に予約を入れることをおすすめいたします。

#### ④出産

出産は日赤医療センターで行います。

その際、日赤医療センターの担当の助産師が出産介助を行います。詳しくは、マタニティノートを参照していただきますが、緊急時に対応できる装備を整えた上での家庭的な雰囲気での出産となります。また、胎児のモニターは実施いたしません。

#### ⑤産後

産後の経過に特に問題がない場合、日赤医療センターにご希望に応じて1日～3日（ただし、妊婦さんの状態でご希望にそえない場合もあります）入院していただきます。その後、以下のいずれかの方法でケアを受けていただきます。

- 1) 日赤医療センターの助産師による在宅ケア
- 2) 地域の助産師による在宅ケア
- 3) 地域の助産所への入院

また、産後、助産所及び日赤医療センターにおけるケアや健診、出産について、満足度等のご意見をうかがいます。うかがったご意見は、本事業の成果に反映させていただきます。

#### ○受診の際の持ち物

日赤医療センター、あるいは助産所を訪れる際は、母子手帳、及びマタニティノートをお持ち下さい。マタニティノートは健診した結果が記入されております。記録は、複写式になっており、自分のお手元と日赤医療センター、または助産所が保管しますので、緊急の場合にスムーズに対応できます。



## 2. 費用

本事業をご利用頂く場合、出産にかかる費用（ただし初診費用を除く）はおおよそ下記のとおりになります。

（例）妊娠 15 週で当センターで初診を受け、本事業を利用した場合

在宅妊婦健診（ご自宅）	5回
通院定期健診（日赤）	5回（超音波検査4回、ドプラ1回、NST2回）
入院（日赤）	1日
早期新生児健診 （日赤、ご自宅）	2回（生後1日目、5日目（ガスリー検査））
在宅ケア（ご自宅）	3回（乳房マッサージあり、沐浴サポートあり）
1か月健診（日赤）	1回（赤ちゃんの健診、生後1か月）
1か月半健診（日赤）	1回（お母さんの健診、産後1か月半）

在宅妊婦健診 (ご自宅)	基本料	5,300円	×(5)回	26,500円
	ドプラ (助産師出張) 交通費(実費)	400円	×(5)回	2,000円 +交通費
通院定期健診 (日赤)	基本料	3,500円	×(5)回	17,500円
	超音波検査	3,000円	×(4)回	12,000円
	またはドプラ	400円	×(1)回	400円
	NST	3,000円	×(2)回	6,000円
分娩料等		310,760円	×(1)回	310,760円
入院料	(普通室の場合、食事代含む) 1日あたり	21,540円	×(1)日	21,540円
新生児介補料	1日あたり	4,110円	×(1)日	4,110円
早期新生児 健診(日赤、 ご自宅)	(生後1日目)		×(1)回	1,000円
	(生後5日目) ガスリー検査 (助産師出張) 交通費(実費)		×(1)回	5,000円 +交通費
在宅ケア (ご自宅)	母乳育児サポート・沐浴サポート 12,000円 乳房マッサージ 3,000円 (沐浴がない場合 -2,000円) (助産師出張) 交通費(実費)		×(3)回	45,000円 +交通費
1か月健診 (日赤)	(赤ちゃんの健診)	5,500円	×(1)回	5,500円
1か月半健診 (日赤)	(お母さんの健診) (検査等を除く)	3,500円	×(1)回	3,500円
合計				460,810円+交通費(実費)